



1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

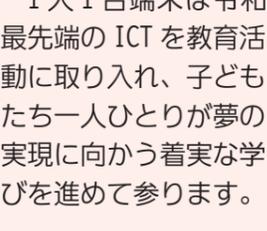
幸手市教育委員会教育部指導課

新たな社会[Society5.0]時代をたくましく生きていく児童生徒を育成するためには、情報活用能力の育成が必要不可欠です。

そのため、幸手市では、令和2年度中に全ての小・中学生に1人1台のPC端末を整備し、学校教育のICT化を進めて参ります。

こうした端末の整備により、例えば、教師が授業中の子どもたち一人ひとりの反応をリアルタイムで把握し、個々のニーズに応じた課題や問題を瞬時に提供することができます。また、子どもたちにとっては、調べ学習に活用できることに加え、クラスメイト個々の考えを全体で共有することで、多様な意見にふれながら自分の考えを高めていくことなども容易にできるようになります。さらには、児童生徒が、写真や動画を効果的に使用したプレゼンテーションを作成しアウトプット(発表)するといった活動も可能になり、児童生徒の意欲も高まります。必要によっては、学校と家庭でオンラインでつながることも可能になります。

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」。最先端のICTを教育活動に取り入れ、子どもたち一人ひとりが夢の実現に向かう着実な学びを進めて参ります。



CAFS付消防ポンプ自動車が配備されました

幸手消防署に新しいCAFS付消防ポンプ自動車(消防水車)が配備されました。この車両は小型ながら600リットルの水に特殊装置で薬剤を混合することで、水10,000リットル程度と同等の消火効果を持った画期的な消防ポンプ自動車です。



最大吐出量 3800ℓ/分

消防水利の少ない地域においても、より効果的な消火活動を行うことができ、消防隊員の負担軽減ならびに水損被害を最小限に抑えることにも期待ができます。

マスクと雑巾が寄贈されました

左から 木村市長、榎本会長、常盤副会長、猿渡副会長



6月11日(木)に、幸手市食生活改善推進員協議会から手作りマスク(223枚)・雑巾(100枚)が寄贈されました。

榎本会長は「私たちの健康は私たちの手で!というスローガンのもと活動し、先輩方の活躍もあり創立50周年を迎えることができました。毎年親子の食育事業などを行っていますが、コロナ禍で自粛。食の大切さを伝える代わりに、会員が自宅のできる健康への支援を考えマスクなどを作りました。子どもたちの新型コロナウイルス感染予防に役立ててほしいです。」とコメント。

木村市長は「いただいた手作りマスクと雑巾は、放課後児童クラブへ配布し、有効に活用させていただきます。引き続き、栄養および食生活改善を通じて、市民の健康増進にお力添えをいただきたいです。」と受け取りました。

じゃがいも掘り (吉田幼稚園) 6月24日(水)、吉田幼稚園でじゃがいも掘りが行われました。



じゃがいも掘るぞ~!!

園舎からじゃがいも畑までは約50メートル。子どもたちは元気に園庭を走り抜け、じゃがいも畑までかけていきます。じゃがいも畑に到着したら早速収穫に入ります。手足を泥まみれにしながらも、じゃがいもをどんどん掘っていきます。



「見つけた!」



子どもたちは、「大きいのとれた! 見てー!」と自分の手で掘った大きなじゃがいもを見せてくれました。

中には、じゃがいもだけではなく、昆虫の幼虫を見つけた子も……。

カブトムシの幼虫かな?



終わった後には、「じゃがいも掘り楽しかった!」、「もっと掘りたい!」という声が子どもたちから聞こえてきました。

『じゃがいも掘りに興味をもって、収穫の喜びを知ってほしい』という吉田幼稚園の先生たちの想いも叶ったようです。



吉田幼稚園では、収穫したじゃがいもを使って子どもたちがカレーをつくる「カレーパーティ」を毎年行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染防止のため、じゃがいもはおうちに持ち帰りました。



療原短歌会

会合の中止の知らせ
続きをり
世界を占むる
コロナウイルス
小澤六子・中二

吸水器の水を含みて
一呼吸
動悸しづめて
健診を待つ
古賀富美江・中三

「ハッピーバースディトウユウ」
父祝ぐ曾孫の声
立夏の庭の
風にひろがる
新井佐和江・戸島

風邪気味の老躬につる
「コロナ不安」
体温計りて
一喜一憂
竹園末子・中二

一寸先見えぬ濃霧に
われ一人
樹海の中を
さ迷っている
大内田登久子・千塚

若草俳句会

「蛇・白玉・田水沸く」
白玉に
紅のかそけき老夫婦
大熊三郎・幸手市北

死してなほ
鎌首もたげ睨む蛇
鈴木佐一・久喜市栗橋東

田水沸く
農継ぐ友の白きシャツ
坂本正女・幸手市中川崎

五代目の
作る白玉麻のれん
中山雅友・幸手市東

赤子の肌のごと柔し
鴨田とし子・幸手市中
田水沸く
夫の命日近くなり
高橋照子・幸手市中野

とぐろ巻き
行く場所のなき蛇が寝る
田口もと子・幸手市中